



# 2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月6日

# 決算概要

## 厳しい事業環境のなか、売上高・営業利益は増収減益。

- ✓ 空調事業：住宅用空調需要の回復遅れ、想定を超える欧州ヒートポンプ暖房需要の減少などの影響を受けるなか、アプライド、業務用空調など需要が好調な事業を拡大するとともに、戦略的売価施策、トータルコストダウンを徹底し、需要のマイナス影響を極小化。為替効果も取り込み、増収増益。
- ✓ 化学事業：化成品の販売拡大に努めたが、半導体製造プロセス向けや自動車分野の需要回復遅れの影響により、増収減益。

足元も厳しい事業環境が続いているが、重点テーマの取組みを加速し、事業環境の変化に対応した施策を強化・拡充することで、上期（4-9月）は増収増益を確保する。

(億円)	1Q実績		
	2023年度	2024年度	前年度比
<b>売上高</b>	10,947	<b>12,510</b>	114%
<b>営業利益</b>	1,179	<b>1,154</b>	98%
(利益率)	(10.8%)	(9.2%)	
<b>経常利益</b>	1,148	<b>1,052</b>	92%
(利益率)	(10.5%)	(8.4%)	
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	803	<b>631</b>	79%
(利益率)	(7.3%)	(5.0%)	

USD/円	¥137	¥156
ユーロ/円	¥149	¥168
中国元/円	¥19.6	¥21.5

為替影響（対前年度）

売上高 +1,030億円  
営業利益 +70億円

# 事業セグメント別実績

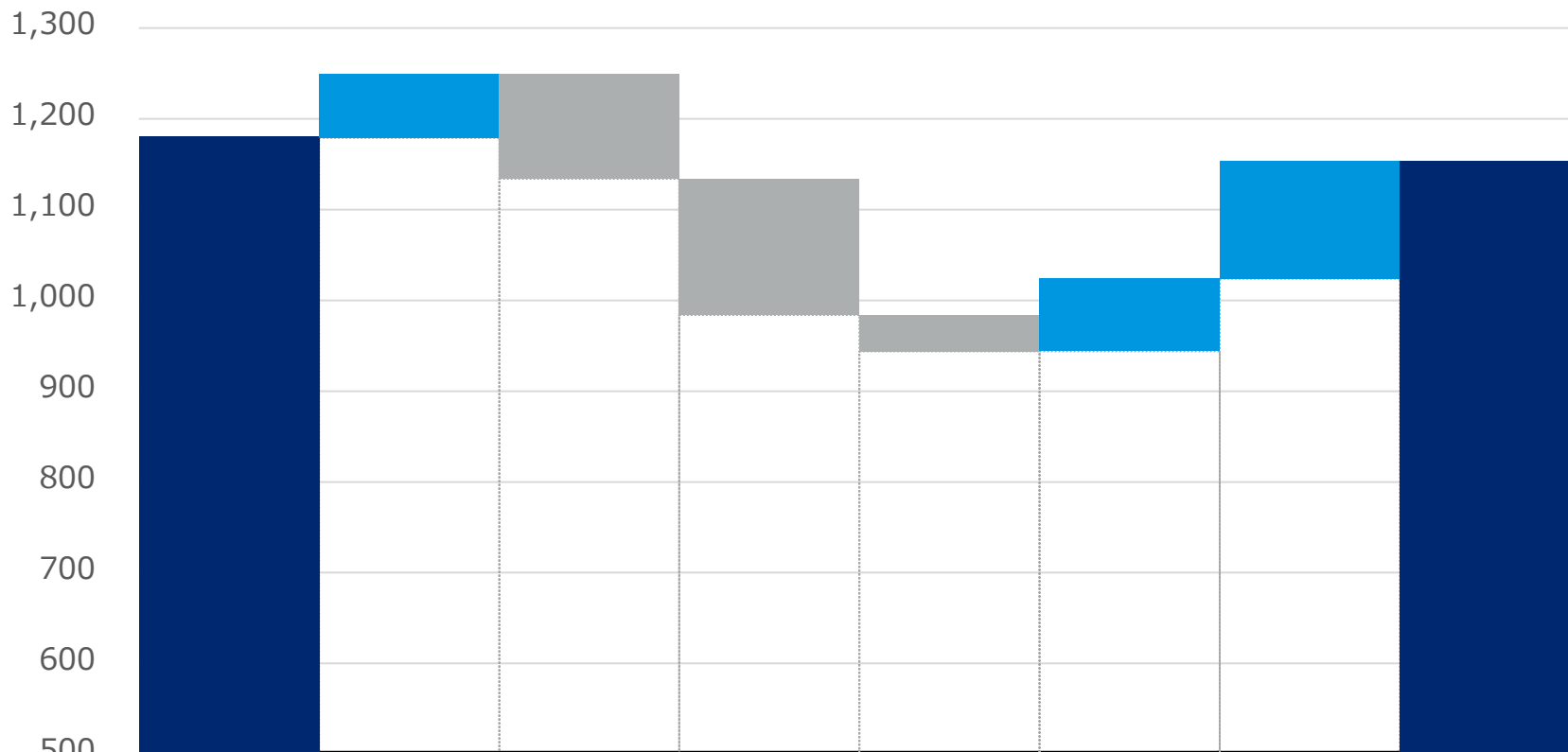
(億円)		1Q実績		
		2023年度	2024年度	前年度比
全社	売上高	10,947	<b>12,510</b>	114%
	営業利益 (利益率)	1,179 (10.8%)	<b>1,154</b> (9.2%)	98%
空調	売上高	10,118	<b>11,689</b>	116%
	営業利益 (利益率)	1,037 (10.2%)	<b>1,044</b> (8.9%)	101%
化学	売上高	609	<b>623</b>	102%
	営業利益 (利益率)	128 (21.0%)	<b>112</b> (18.0%)	88%
その他	売上高	220	<b>199</b>	90%
	営業利益 (利益率)	14 (6.4%)	<b>▲ 1</b> -	-

※冷凍・冷蔵事業、フィルタ事業は空調事業に含む。

# 営業利益増減分析-実績の対前年度比

※冷凍・冷蔵事業、フィルタ事業は空調事業に含む。

(億円)



	2023年度 1Q実績	為替	原材料 (物流費含む)	固定費ほか	拡販	売価	円高の影響	2024年度 1Q実績
計	1,179	+70	▲115	▲150	▲40	+80	+130	1,154
空調	1,037	+53	▲116	▲133	+3	+73	+127	1,044
化学	128	+18	+2	▲15	▲29	+6	+2	112
その他	14	▲1	▲1	▲2	▲14	+1	+1	▲1

# 地域別売上高の推移-空調事業

※パーセンテージは前年度比

※冷凍・冷蔵事業、フィルタ事業含む

(億円)	2020年度1Q		2021年度1Q		2022年度1Q		2023年度1Q		2024年度1Q	
	<b>日本</b>	91%	1,163	117%	1,364	97%	1,323	106%	1,398	<b>107%</b>
<b>欧州</b>	93%	874	157%	1,370	112%	1,538	114%	1,749	<b>100%</b>	<b>1,743</b>
<b>中国</b>	79%	891	146%	1,300	95%	1,233	118%	1,460	<b>100%</b>	<b>1,466</b>
<b>米州</b>	92%	1,661	133%	2,216	147%	3,251	116%	3,781	<b>128%</b>	<b>4,836</b>
<b>アジア</b>	64%	532	138%	735	143%	1,050	112%	1,174	<b>126%</b>	<b>1,484</b>
<b>オセアニア</b>	97%	163	138%	225	129%	291	100%	290	<b>117%</b>	<b>340</b>
<b>中近東</b>	75%	72	186%	134	136%	182	130%	236	<b>123%</b>	<b>291</b>
<b>アフリカ</b>	71%	11	115%	13	194%	25	117%	29	<b>101%</b>	<b>30</b>
<b>計</b>	86%	5,367	137%	7,356	121%	8,893	114%	10,118	<b>116%</b>	<b>11,689</b>
海外売上高比		78%		81%		85%		86%		87%
USドル/円		¥108		¥110		¥130		¥137		¥156
ユーロ/円		¥118		¥132		¥138		¥149		¥168
中国元/円		¥15.2		¥17.0		¥19.6		¥19.6		¥21.5

# 地域別売上高の推移-化学事業

※パーセンテージは前年度比

※その他 = オセアニア、中近東、アフリカ等

(億円)	2020年度1Q		2021年度1Q		2022年度1Q		2023年度1Q		2024年度1Q	
	<b>日本</b>	71%	90	147%	132	128%	170	94%	159	<b>95%</b>
<b>米州</b>	71%	77	135%	103	131%	136	78%	107	<b>98%</b>	<b>104</b>
<b>中国</b>	105%	93	133%	123	123%	151	86%	130	<b>131%</b>	<b>170</b>
<b>アジア</b>	88%	47	127%	60	132%	78	99%	77	<b>84%</b>	<b>65</b>
<b>欧州</b>	76%	48	173%	84	121%	101	132%	134	<b>96%</b>	<b>129</b>
<b>その他</b>	40%	1	179%	2	139%	3	55%	2	<b>208%</b>	<b>4</b>
<b>計</b>	80%	356	142%	504	127%	639	95%	609	<b>102%</b>	<b>623</b>
海外売上高比	75%		74%		73%		74%		76%	
USドル/円	¥108		¥110		¥130		¥137		¥156	
ユーロ/円	¥118		¥132		¥138		¥149		¥168	
中国元/円	¥15.2		¥17.0		¥19.6		¥19.6		¥21.5	

# 事業/地域別概況-空調事業

## 日本

住宅用の業界需要は、全国的に平均気温が高かったこと、賃金改善による消費マインドの回復により、前年度を上回った。

業務用の業界需要は、設備投資が改善傾向にあったことに加えて、インバウンド効果による店舗向けの需要が回復し、前年度を上回った。

当社は、高付加価値商品の拡販に加え、売価効果もあり、売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用：電気料金の上昇や省エネニーズの拡大を背景に、『うるさらX』のユーザー提案を強化。
- ✓ 業務用：高い省エネ性と施工性を兼ね備えた「FIVE STAR ZEAS」、小容量個別空調ニーズに対応した「machiマルチ」、既設の冷媒配管を利用しスムーズな空調機器更新が可能な「VRV Q」シリーズなど、高付加価値商品を中心にユーザー提案を強化。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用	業界	110%
	当社	104%
業務用	業界	108%
	当社	108%
アプライド	業界	99%
	当社	116%

※アプライドは売上高ベース

# 事業/地域別概況-空調事業

## 米州

長引くインフレや住宅ローン金利の高止まりにより、住宅用の業界需要が低迷する厳しい事業環境。当社は、好天であった米国南部での住宅用の販売拡大に加え、アプライドでも拡販。売価効果もあり、売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用ユニタリー：流通在庫調整の影響は解消の傾向。自前卸で環境プレミアム商品「Fit」の販売が大きく伸長。
- ✓ ダクトレス：RA/SKYは、レップでの販売が好調に推移。昨年投入したオンライン向け商品の販売が拡大。VRVは、プロジェクトの延期の影響により販売は前年度を下回った。
- ✓ アプライド：メキシコ新工場の立ち上げや、既存工場での生産能力増強により、需要が堅調な製造業、データセンター向けに機器を拡販。ソリューション事業でも、買収した計装・エンジニアリング会社を活用して販売を伸ばし、売上高は前年度を大きく上回った。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用ユニタリー		101%
ダクトレス	RA/SKY	110%
	VRV	82%
アプライド		143%

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース



# 事業/地域別概況-空調事業

## 中国

不動産市況の回復が遅れるなか、顧客ダイレクトの販売を強化。為替効果も含めて、売上高は前年度並みを確保した。高付加価値商品の拡販、コストダウンの取組みにより、営業利益は高水準を維持。

- ✓ 住宅用：住宅用マルチエアコンは、ユーザーダイレクトのオフラインの小売販売に、ショールームを活用したライブ放送・Web広告・SNSなど、オンラインを組み合わせた当社独自の販売活動に注力。空調・換気・ヒートポンプ床暖房に、省エネや空気質提案などのソリューションサービスを組み合わせたシステム商品の新シリーズも投入し、幅広い顧客ニーズに対応。
- ✓ 業務用：カーボンニュートラル政策の推進による堅調な需要を背景に、政府物件、工場、グリーンビルなどで省エネを切り口としたソリューション提案を強化。
- ✓ アプライド：インフラ・半導体・医療関連向けに機器の販売に注力。保守・メンテナンス事業の強化にも努めたが、事業環境の悪化により、売上高は前年度を下回った。

前年度比 (現地通貨ベース)	1Q 実績
住宅用	93%
業務用	94%
アプライド	81%

# 事業/地域別概況-空調事業

## 欧州・中近東・アフリカ

地域全体の売上高は前年度を上回った。

欧州は、インフレの鎮静化が進み、景気は緩やかな回復基調のなか、ヒートポンプ暖房の需要が大きく減少する厳しい事業環境が継続。当社は、アプライドでの販売拡大に加え、為替効果もあり、売上高は前年度並み。

中近東は、トルコでの猛暑効果を取り込み、売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用：春先の天候が例年よりも低気温であったフランス・スペインなどで販売が落ち込んだが、販売店開発を進めたイタリアで拡販。
- ✓ 業務用：ホテル・レストランなど需要が堅調な市場での販売に注力。
- ✓ H/P暖房：販売店開発や補助金申請支援などの販売力強化に取り組んだが、イタリア・ドイツ・フランスなどの主要国で、補助金制度の見通しへの不安が広がり、買い控えが継続。
- ✓ アプライド：データセンター向けに中・大型チラーを拡販。サービス事業でも販売を拡大。
- ✓ 冷凍・冷蔵：販売力を強化し、フードリテールチェーンの需要回復を捉えた。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用		92%
業務用	SKY	89%
	VRV	106%
H/P暖房		53%
アプライド		118%
冷凍・冷蔵		138%

※住宅用・業務用・H/P暖房は欧州のみ

※アプライド、冷凍・冷蔵は売上高(現地通貨)ベース

# 事業/地域別概況-空調事業

## アジア・オセアニア

インフレ率の高止まりにより需要が低迷する厳しい事業環境のなか、販売店の開発・支援に努めたこと、インドでの販売が好調を維持したことにより、地域全体の売上高は前年度を大きく上回った。

- ✓ 住宅用：インドでは、強化した販売網や供給力を活かし、経済成長を背景に成長する需要を取り込み拡販。タイ・ベトナムでも、これまでに築き上げた販売網での販促活動を強化し、販売を伸ばした。
- ✓ 業務用：大型物件着工の遅延・中止が続いたが、販売店の開発・支援により、小口案件を着実に受注につなげ、販売を拡大した。
- ✓ アプライド：工場・データセンター向けの需要拡大を捉え、機器を拡販。また、保守・メンテナンスなどサービス事業に注力し、販売を拡大。

### 売上高上位国の前年度比（現地通貨ベース）

オーストラリア：105% インド：144% ベトナム：104%  
マレーシア：106% インドネシア：96% タイ：106%

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用		120%
業務用	SKY	116%
	VRV	109%
アプライド		137%

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

# 事業/地域別概況-化学事業

半導体製造プロセス向け・自動車分野での需要回復遅れ、それに伴う流通在庫調整の影響を受けたが、撥剤の拡販に加え、為替効果もあり、売上高は前年度並み。

- ✓ フルオロカーボンガス：需要の落ち込みと市況軟化の影響を受けた。
- ✓ 樹脂・ゴム
  - フッ素樹脂：LAN電線の需要回復遅れや半導体製造装置向けの需要減少の影響を受けた。
  - フッ素ゴム：自動車分野での流通在庫調整の影響を受け、販売が減少。
- ✓ 化成品ほか：流通在庫の減少に伴い、表面防汚コーティング剤や撥水撥油剤の販売を拡大。

前年度比 (売上高ベース)	1Q 実績
合計	101%
ガス	97%
樹脂・ゴム	102%
化成品ほか	101%

# 事業/地域別概況-フィルタ事業

半導体市況の回復遅れの影響はあるものの、総じて需要が堅調に推移したことに加え、為替効果もあり、売上高は前年度を上回った。

- ✓ エアフィルタ：米国では、熱波の影響によりフィルタの交換需要が増加し、販売が伸長。日本では、在庫調整の影響を受け、半導体市場向けの高性能フィルタの販売が減少。
- ✓ P&I(※)：油田向け特殊フィルタの販売が好調に推移。アフターサービス事業へのリソースのシフトなど事業体質の改善に努めた。

※P&I・・・ガスタービン、大規模プラント等の業務用集塵システム

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2023年度		2024年度	
	1Q実績	年間計画	1Q実績	年間計画
設備投資	790	3,150	954	2,900
減価償却費	392	1,700	483	1,900
研究開発費	302	1,150	348	1,350



### **予測に関する注意事項**

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。